

(様式3) ※原則、1枚のスライドで作成してください。本様式に、追加で詳細な説明資料等がある場合は、別途添付して下さい。

## 事業名 提案者名

【共同提案者がいる場合、共同提案者名】

※技術、標準化の内容を表す図、  
データ等を示してください。

### 【概要】

※標準化活動の概要

(どのような技術、評価方法等を標準化するのか、どのような調査を行うのか、どういった連携(異業種連携等)を行うのか等)について、5行前後でご記載ください。

### 【技術等詳細及び社会的意義】

※標準(デジュール/フォーラム)開発する技術、サービスまたは評価・測定方法に関して、どのような技術、方法等が必要なのかについてご記載ください。

提案する当該標準化活動の取り巻く状況をご記載ください。

また、そうした技術/製品/サービス等の標準化によって、どのような社会/市場/産業課題を解決し、省エネルギー化等に資するのかについて記載してください。

例)・・・による測定方法は、・・・することができる。従来の・・・を用いた方法と比較して、・・・のため有用である。

本技術は、・・・できる技術である。昨今、問題が顕在化してきている・・・等活用が期待できる。また、・・・の省エネルギー化等の効果が期待できる。

### 【対象となる規格の分類】

※デジュール標準を目指す場合は、以下の該当項目に○をつけてください。分類の詳細は(参考)をご覧ください。複数可。

1. 基本規格
2. 用語規格
3. 試験方法規格
4. 製品規格
5. プロセス規格

### 【標準化する項目】(案)

※何を標準化するのか簡潔に記載してください。

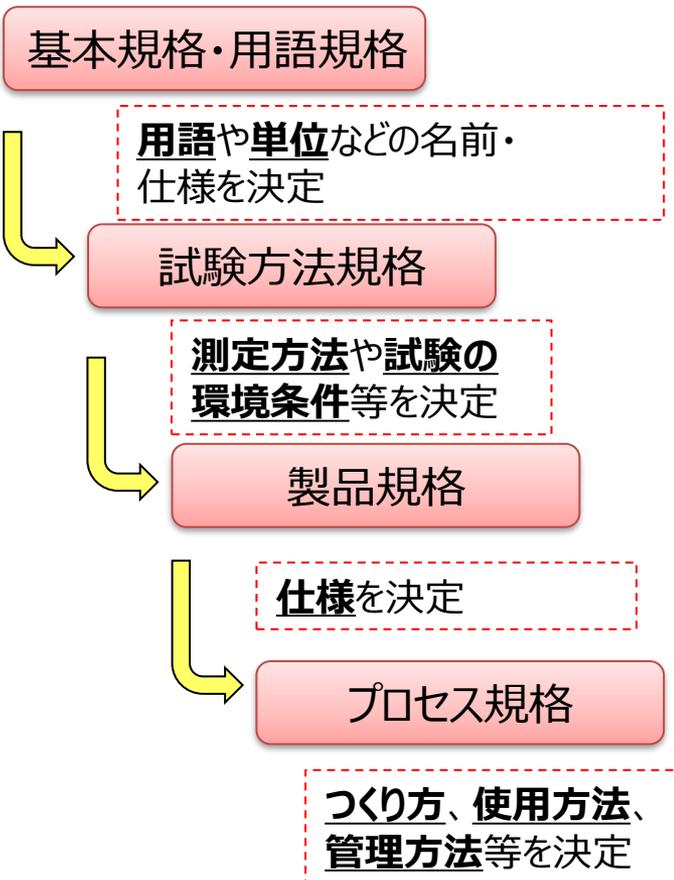
- (1)・・・の測定方法
- (2).....
- (3).....
- (4).....
- (5).....

## (参考) 規格の分類

- 「**規格の種類**」は、**ISO/IECのガイドで分類**。それに基づく**JIS Z 8002では規格を8つに分類**している。
- 規格の8分類のうち、基本形となるのが以下①～⑤となる。

①基本規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●用語、記号、単位、標準数など提供範囲が広い分野にわたる規格、または特定の分野についての全体的な既述事項を持つ規格。</li> </ul>
②用語規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●用語に関する規格であって、通常、用語の定義を伴い、時には説明のための備考、図解、例などを伴うもの。</li> </ul>
③試験方法規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●試験方法に関する規格であって、時にはサンプリング、統計的方法の使用、試験順序などのような試験に関する記述事項を含むもの。</li> <li>●例えば、長さを測る時に、気温や湿度の設定が無ければ同じ条件で比較することはできない。こうした条件設定も、試験方法規格となる。</li> <li>●多くの場合、基本規格・用語規格による用語・単位の存在が前提となる。</li> </ul>
④製品規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的適合性を確実に果たすために、製品又は製品群が満たさなければならない要求事項(形、色、機能、性能等)を規定する規格。</li> <li>●「製品のあるべき値」を記述するためには、試験方法規格(=あるべき値の計り方)が必須となる。</li> </ul>
⑤プロセス規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目的適合性を確実に果たすために、製造方法、管理方法等、プロセスが満たされなければならないポイントを記述した規格。</li> <li>●「マネジメントシステム規格」も包含すると整理できる。</li> </ul>

### 規格の種類的基本的な包含関係



※「目的適合性を確実に果たすために」とは、意識すれば「試験方法や製品やプロセスを、規格どおりにするために」というニュアンスとなる。